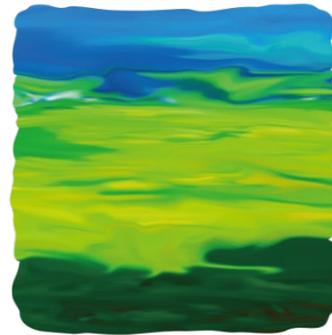


持てるすべてを「いのち」に向けて。

Dedicated to sustaining all life.

2022年度第3四半期 決算概要説明資料



NORINCHUKIN

農林中央金庫

2023年2月7日

損益の状況

- 欧米を中心とした利上げに伴い、利息配当の上振れ等により資金運用収益が増加も、外貨調達コスト等の資金調達費用が大幅に増加。

【連結】 (単位：億円)

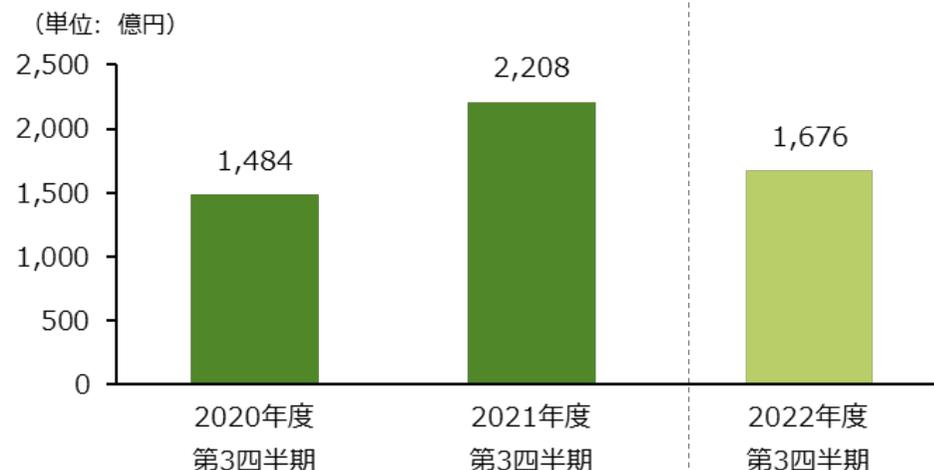
	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減
1 経常収益	9,442	17,596	8,153
2 うち資金運用収益	4,955	9,662	4,706
3 (有価証券利息配当金)	4,132	7,687	3,554
4 (貸出金利息)	708	1,518	810
5 経常費用	7,233	15,919	8,685
6 うち資金調達費用	3,833	8,895	5,062
7 (信連等調達費用)	2,205	1,962	▲ 242
8 うち事業管理費	1,043	1,170	127
9 経常利益	2,208	1,676	▲ 532
10 税引前純利益	2,208	1,908	▲ 299
11 親会社株主帰属純利益	1,570	1,593	23

【単体】

	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減
12 経常利益	2,084	1,540	▲ 543
13 純利益	1,500	1,528	27
【参考値(単体)】			
14 有価証券売却損益	▲ 296	458	754
15 投資信託解約損益および 金銭の信託内売却損益	▲ 722	▲ 289	432
16 与信関係費用(▲)(注)	▲ 144	58	203
17 有価証券償却(▲)(注)	25	0	▲ 25

注：与信関係費用、有価証券償却のマイナス(▲)は戻入

経常利益の推移(連結)



純利益の推移(連結)



バランスシート状況

■ リスク抑制の観点からバランスシート規模を縮小し、健全性を維持。

【連結】

(単位：億円)

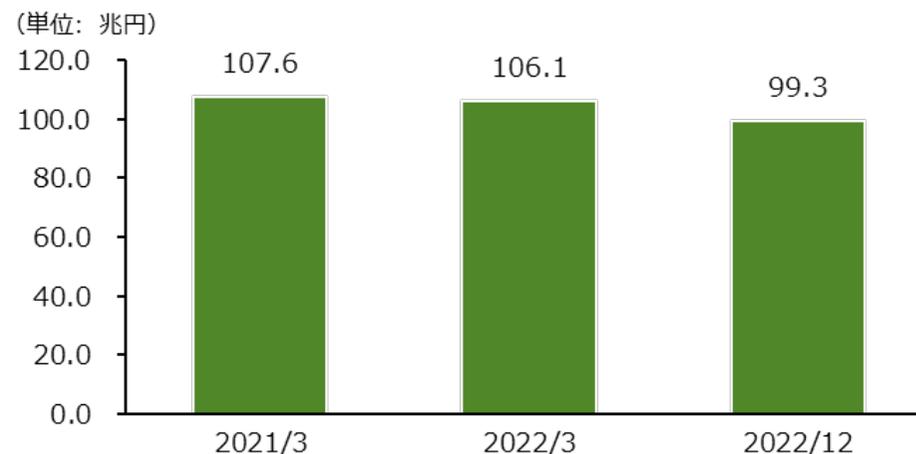
	2022年3月末	2022年12月末	増減
1 貸出金	233,418	177,305	▲ 56,113
2 有価証券	467,485	403,087	▲ 64,397
3 金銭の信託	108,679	103,410	▲ 5,269
4 現金預け金	181,405	232,194	50,788
5 その他	70,394	77,353	6,958
6 資産の部合計	1,061,383	993,350	▲ 68,033
7 預金等 (注)	646,945	654,963	8,017
8 農林債	3,602	4,155	552
9 売現先勘定	193,276	117,995	▲ 75,281
10 その他	144,611	163,049	18,437
11 負債の部合計	988,436	940,163	▲ 48,273
12 純資産の部合計	72,946	53,187	▲ 19,759

注：預金等は会計上の預金および受託金（会員からの短期資金受入が大半）

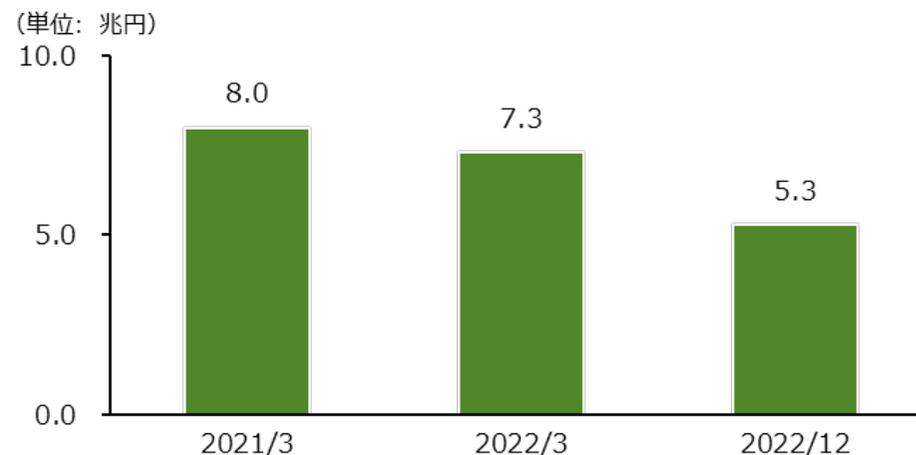
【単体】

	2022年3月末	2022年12月末	増減
13 資産の部合計	1,033,663	962,825	▲ 70,837
14 負債の部合計	962,218	911,755	▲ 50,462
15 純資産の部合計	71,445	51,070	▲ 20,375
16 その他有価証券評価損益	10,410	▲ 16,523	▲ 26,934

総資産の推移（連結）



純資産の推移（連結）

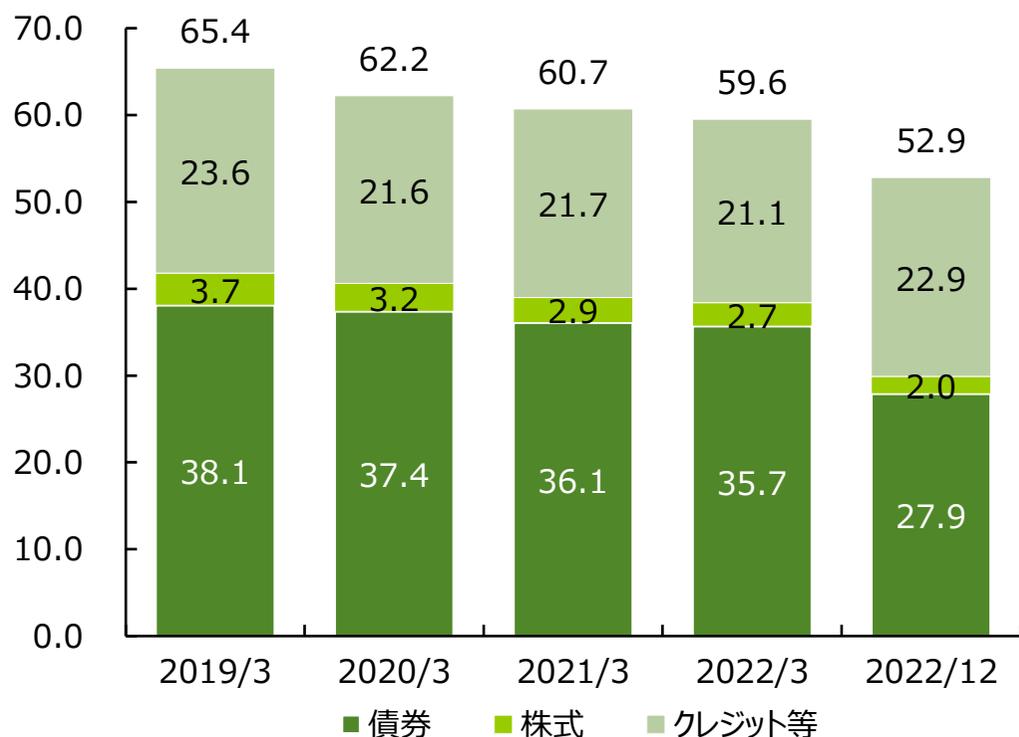


市場運用資産の状況（単体ベース）

- 市場運用資産残高は約52.9兆円と前年度末比で減少。
- 有価証券評価損益は1兆6,523億円の評価損を計上。

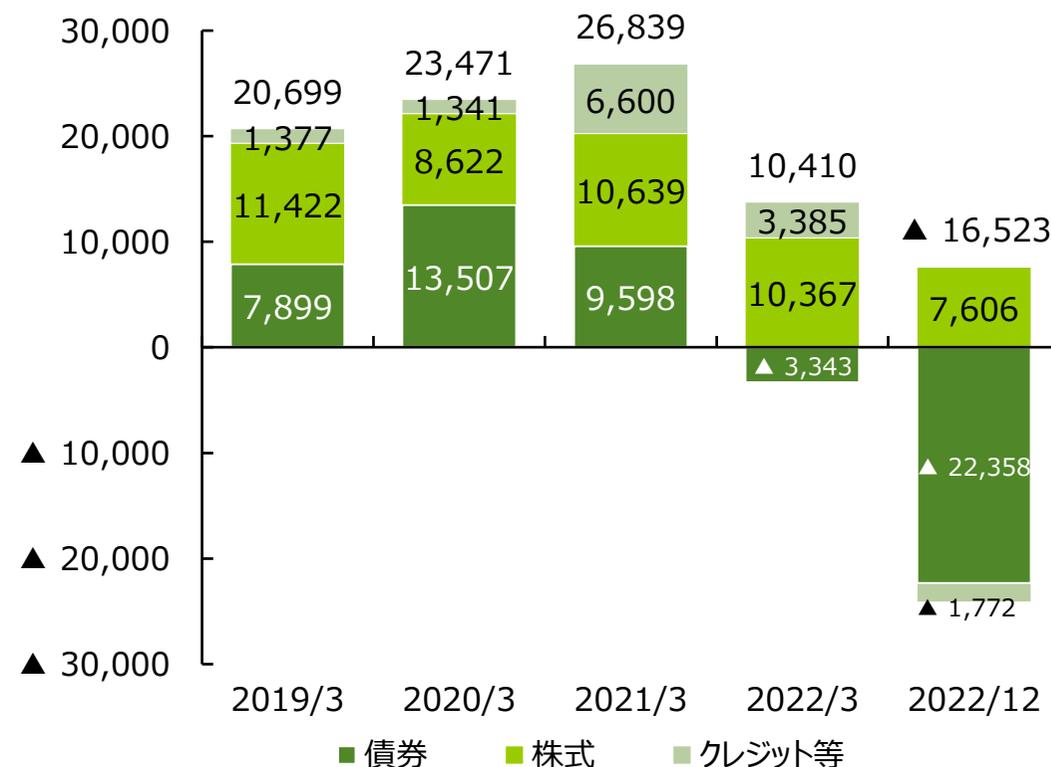
市場運用資産残高の推移

(単位：兆円)



有価証券評価損益の推移

(単位：億円)

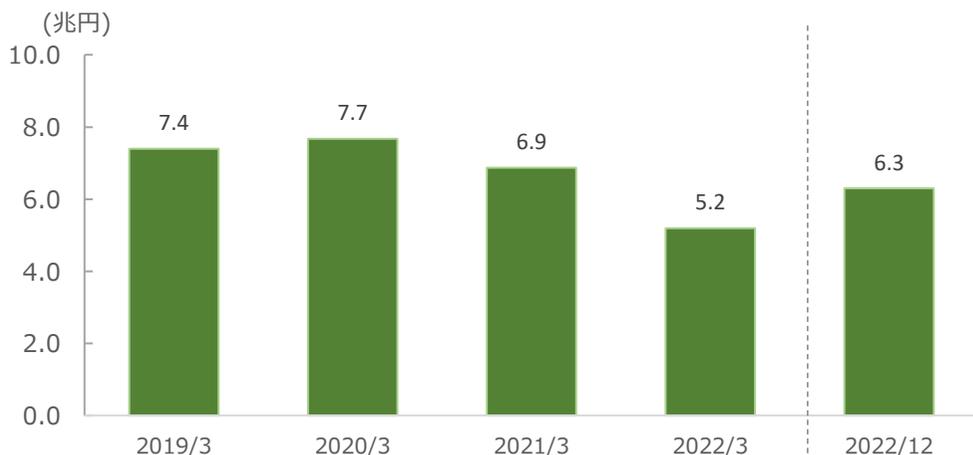


Appendix

市場運用資産(CLO)について

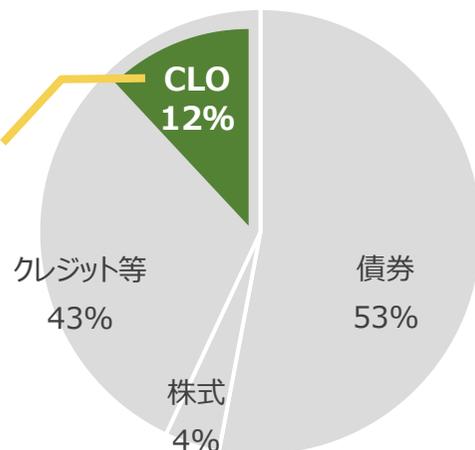
- 詳細な分析や適切なリスク管理態勢の下、リスク・リターンを勘案しながら慎重な投資を実施

投資残高の推移



市場運用資産に占める割合・資産内容

- 市場運用資産の12%
- 全てAAA格
- 全て満期保有目的



※四捨五入のため、各数値の合計が100%とならない場合があります

投資にあたっての分析・リスク管理

投資対象	<ul style="list-style-type: none"> • AAA格に限定
裏付資産	<ul style="list-style-type: none"> • 組入可能資産についての厳格な基準設定 • 裏付資産内の個別銘柄・業種の分析
ストラクチャー	<ul style="list-style-type: none"> • 信用補完水準等についての独自ガイドライン • 当金庫独自の厳格なストレステスト • ミドル部門による全件審査
運用マネージャーの選定	<ul style="list-style-type: none"> • 投資前のデューデリジェンスを通じた、運用能力・投資スタンスの確認
投資後のモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> • マネージャーとの綿密なコミュニケーション • 投資ガイドライン遵守状況、運用方針、裏付資産の質等の確認

ご利用の皆様へ

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等についての検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。弊金庫は、本プレゼンテーション資料に記載されている情報の利用から生じる損害が直接的、また、間接的であるかに関わらず、何ら責任を負いません。
- 本プレゼンテーション資料には、弊金庫に関連する予想、見込み、見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当金庫が現在入手している情報に基づき、本プレゼンテーション資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しない可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料は、有価証券の販売のための勧誘を構成するものではありません。